

週刊センターニュース No.8



第 8 号 (2004 年 4 月 30 日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

「なんでも相談室」と障害学生支援

現在、学内の各学部掲示板などに、「至急 ノートテイク募集」というポスターが貼ってある。各先生方には、その内容をご確認いただき、アドバイス教員として対応されている学生たちや、ゼミの学生たち、指導されている院生たちに、積極的に協力するよう声をかけていただくようお願いしたい。

4月7日(水) 担当していたTA研修会が終わろうとしているときに、総合教育棟学務係の黒田係長から、「なんでも相談室に新生と親御さんが相談に来ているから、至急、面談に応じてほしい」との連絡が入った。私が室長を務める「なんでも相談室」はすでに3月中の入学手続きの日から新生の相談を受け付けてきたが、この日だけは入学式だから新生の相談はないだろうと、TA研修会の日程をいれていたのだが、それでも午後には入学式を終えた新生が相談にやってきましたわけである。

「なんでも相談室」で私を待っていたのは、理学部に入学したという難聴の学生であった。その日から、本人の履修希望を確認しながら、履修計画を作る作業が始まった。翌日8日から月末までフル稼働した「なんでも相談室」の中心は、履修相談を担当してくれた十数名の学生・院生たちであったが、彼ら・彼女たちも当然のように、この学生の履修計画作りに協力してくれた。

学生が難聴であることから、言語科目の履修科目決定には時間がかかった。外国語教育研究センターの合澤教授や澤田助教授からご助言をいただき、また非常勤講師の先生方にも快く授業担当をお引き受けいただいた。すべての履修担当の教員には、ノートテイクが各授業開始時点で複数いることを確認していただくなど、具体的に10の項目をお願いする文書をお渡しした。実際に、板書を増やす、ゆっくりと話すなど、さまざまな授業進行の工夫をしていただいている。

まだ始まったばかりであるが、大学の理念に「学生自らの学習意欲が満たされる大学」を目指すと明示し、中期目標で「バリアフリー環境を整備し、・・・障害のある学生の修学・生活支援体制を整える」とする金沢大学にあっては、障害を持った学生がそうではない学生と同様に学ぶ権利を十全に行使できるよう、大学全体として取り組むことを継続的に行わねばならないことは当然である。(文責 青野)

京都大学高等教育研究開発推進センター第63回公開研究会に参加して

4月24日(土)に京都大学高等教育研究開発推進センター主催の第63回公開研究会に参加した。

筑波大学の清水一彦教授(教育制度学)が「筑波大学のFD活動 - 教育計画室による授業参観と授業評価 - 」というテーマで発表を行った。清水教授は、現在、人間総合科学研究科副研究課長兼学長補佐であるが、この3年間、教育審議会のもとに置かれた教育計画室室長として「学群・学類授業参画プロジェクト」を推進して来られた。発表では、このプロジェクトの趣旨、目的、実施の流れ、結果などについて非常に興味深い話を聞くことが出来た。この授業参画プロジェクトは、一種のピアレビュー(同僚による評価)にあたる。プロジェクトの流れとしては、1.教育計画室から推薦依頼、2.学類著・専門学群長が推薦、3.推薦を受けた授業担当教員と相談し授業参観日の決定、4.授業参観(同僚教員による授業評価、受講学生による授業感想)、5.授業参観記録および授業評価記録の作成(授業者へのフィードバック)、6.相互研修会の開催、7.授業参画プロジェクト報告書刊行となっている。

筑波大学では、京都大学での実施例を参考に、このような授業参画プロジェクトに取り組んだとのことであるが、この種のFDの取り組みは、先の第3回大学教育研究集会でも和歌山大学、信州大学での取り組みが紹介されており、今後、多くの大学で取り入れられる手法であると思われる。また、筑波大学では、このプロジェクトに参加した教員には大学名でのFD研修参加証明書が発行されるとのことであった。このような大学公認の証明書は、今後の教育業績評価重視の流れにとって有効な手段であると思われる。(文責 堀井)

5月のランチョンセミナーは国際交流月間企画として、当センター主催、留学生センター・外国語教育研究センター共催で毎日行われます。日程は裏面のとおりです。是非ご参加ください。

5月角間ランチョンセミナー 総合教育棟A1 12:10 ~ 国際交流月間



日程	担当者	タイトル
4/30 (金)	中山謙二(留学生センター長)	「異文化理解のために 国際交流月間を前に 」
5/6 (木)	ペトラ・ブリアーンコヴァー(日研生) ハナ・ゾバロヴァー(文学研究科研究生)	「ヨーロッパの鼓動：チェコ」
5/7 (金)	アカ・エボケレ(自然科学研究科博士後期課程)	「コートジボワールの文化」
5/10 (月)	堀井 祐介(大学教育開発・支援センター助教授)	「北欧の人々の暮らし デンマークを中心に 」
5/11 (火)	林勇二郎(学長)	「金沢大学と国際交流」
5/12 (水)	富田勝(トヨタ部品石川共販株式会社社長)	「世界のトヨタを支える人達」
5/13 (木)	近藤美紀(国際協力機構(JICA)国際交流推進員)	「隊員の目から見た国際協力 マーシャルから ヤコエ(こんにちは)！ 」
5/14 (金)	ティム・ヒューイト(日研生)、チュー・アンナ(日 研生)ティム(KUSEP生)	A Comparison of Campus Lives; Australia and Japan
5/17 (月)	イガ・ホドロフスカ(日研生) コンラッド・ルジツキ (日研生)	「EU加盟国としてのポーランド」
5/18 (火)	田中譜美(文学研究科1年) 瀬戸垣裕子(文学部4年) 馳 亮太(医学部6年)	「派遣留学を体験して」
5/19 (水)	プラデュンナ・ダーヴィリカル(教育学研究科研究生) ヴィバワリ・デシャバンデ(KUSEP生)	「統一性の中に見る多様性と同調性 インドと日本の比較 」
5/20 (木)	川畑 松晴(金沢学院大学教授)	「2004年アジアフォーラムについて」
5/21 (金)	斉木麻利子(留学生センター助教授) 林明美(国際課 留学交流係係長)	「あなたも留学してみませんか？ 金沢大学生が留学する方法 」
5/24 (月)	陸 芸娜(日研生)、賈 卓(日研生)	「中国人留学生の目で見た中国と日本」
5/25 (火)	ボムセ、禹、朴(韓国) 宝(中国) ヴィバワリ(インド) ナ ナ(タイ) ティム(オーストラリア) メリッサ(アメリカ)	留学生によるドラマ発表
5/26 (水)	大藪加奈(外国語教育研究センター助教授)	「留学のための英語」
5/27 (木)	石川県ユネスコ協会青年部 小林 由	「スタディーツアーの報告(仮題)」
5/28 (金)	ともだち	「留学生と友達になろう(仮題)」
5/31 (月)	ペトラ(チェコ) ティム(オーストラリア) バジム(ロ シア) 朴(韓国) 陸(中国)	研究発表「五か国語の色彩表現」

